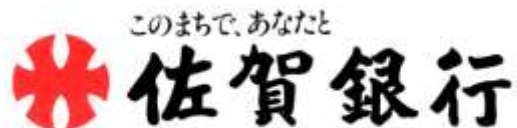


# さきん 会社説明会

「元気で暖かい銀行、どこか違う銀行」を目指して

平成27年11月

※本編は平成27年6月に開催いたしました会社説明会の資料の一部について  
計数に関する部分を平成27年9月期の計数に置き換えたものです。



# 目次

---

1. 平成27年度中間期損益の状況	・・・	3
2. 預貸金の状況	・・・	4
3. 有価証券の状況	・・・	5
4. 自己資本比率・不良債権比率の推移	・・・	6
5. 統合的リスク管理	・・・	7

# 1. 平成27年度中間期損益の状況

(単位:百万円)

項 目	番号	平成26年度 中間期	平成27年度 中間期	前年比	備 考	
業務粗利益	1	16,145	16,511	+366		
資金利益	2	12,294	13,072	+778	貸出金平残	+4.6% (+603億円)
資金運用収益	3	12,974	13,769	+795	(佐賀・長崎)	+3.1% (+212億円)
貸出金利息	4	9,464	9,352	△112	(福岡)	+8.6% (+412億円)
有価証券利息配当金	5	3,347	4,315	+968	貸出金利回り	△5.6% (1.463%→1.381%)
その他	6	162	101	△61	有価証券平残	+6.5% (+412億円)
資金調達費用	7	680	697	+17	" 利回り	+21.0% (1.054%→1.276%)
預金等利息	8	521	532	+11	※投信解約益 前年比	+789
その他	9	158	164	+6	預金等平残	+2.3% (+488億円)
役務取引等利益	10	1,635	1,510	△125	" 利回り	+0.0% (0.050%→0.050%)
役務取引等収益	11	3,228	3,227	△1	総資金利鞘	0.09% (前年比+0.11%ポイント)
" 費用	12	1,592	1,716	+124	投資信託関係 +37	保険関係 △16
特定取引利益	13	29	86	+57	受入為替 △31	
その他業務利益	14	2,185	1,841	△344	住宅ローン保証料保険料 +31	ローン関係保証料 +74
経費	15	12,211	11,778	△433	人件費 △25	物件費 △493(預金保険料△393)
税金						+84
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)	16	3,933	4,732	+799		
クレジットコスト	17	△329	491	+820	クレジットコスト	= 0.03% (前年比+0.05%ポイント)
一般貸倒引当金繰入額	18	0	110	+110	貸出金平残	
個別 " "	19	0	333	+333		
債権売却損等	20	67	47	△20		
貸倒引当金戻入益	21	396	0	△396		
その他の臨時損益	22	58	493	+435	株式売却損益 前年比	+216
経常利益	23	4,320	4,733	+413		
特別損益	24	115	△44	△159		
税引前当期純利益	25	4,435	4,689	+254		
法人税等・法人税等調整額	26	1,309	1,571	+262		
当期純利益	27	3,126	3,117	△9		

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

## 2. 預貸金の状況

### 1. 貸出金の状況

(単位:百万円)

		平成26年度上期	平成27年度上期	前年比
貸出金全体	平残	1,290,065	1,350,433	+60,368
	利回り	1.463%	1.381%	△ 0.082%
	利息	9,464	9,352	△ 112
うち事業性	平残	709,183	760,390	+51,207
	利回り	1.177%	1.102%	△ 0.075%
	利息	4,184	4,199	+15
うち住宅ローン	平残	284,998	303,408	+18,410
	利回り	1.582%	1.452%	△ 0.131%
	利息	2,261	2,208	△ 53
うち消費者ローン	平残	39,803	43,230	+3,427
	利回り	7.736%	7.647%	△ 0.089%
	利息	1,543	1,657	+114

※ 百万円未満は切り捨てて表示しております。

※ 貸出金の状況における事業性貸出金、住宅ローン、消費者ローンの平残については、管理会計の正常貸出金ベースで作成しております。

### 2. 預金等の状況

(単位:百万円)

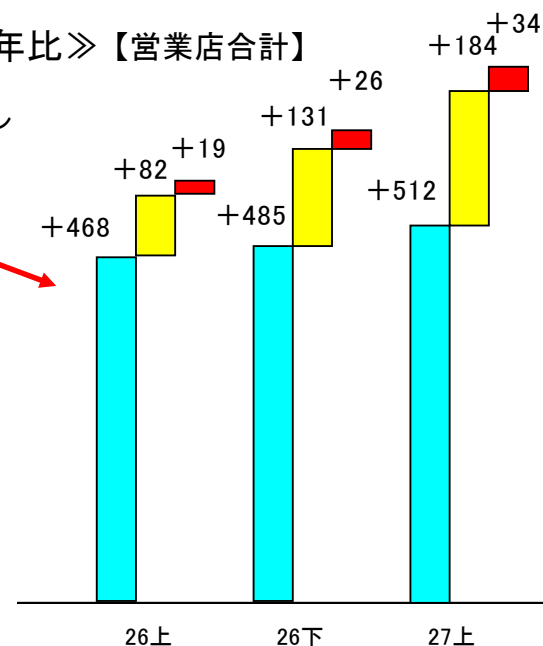
		平成26年度上期	平成27年度上期	前年比
預金等全体	平残	2,041,569	2,090,463	+48,894
	利回り	0.050%	0.050%	+0.000%
	利息	521	532	+11
うち個人預金	平残	1,390,403	1,426,500	+36,097
うち法人預金	平残	474,144	498,964	+24,820

※ 百万円未満は切り捨てて表示しております。

#### 《貸出金平残半期別前年比》【営業店合計】

■ 事業性貸出金  
■ 住宅アパートローン  
■ 消費者ローン

貸出金平残は着実に増加を続ける。

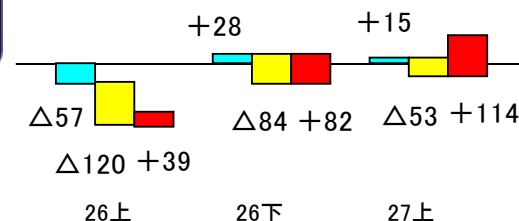


※ 単位は億円、億円未満は切り捨てて表示しております。

#### 《貸出金利息半期別前年比》【営業店合計】

■ 事業性貸出金  
■ 住宅アパートローン  
■ 消費者ローン

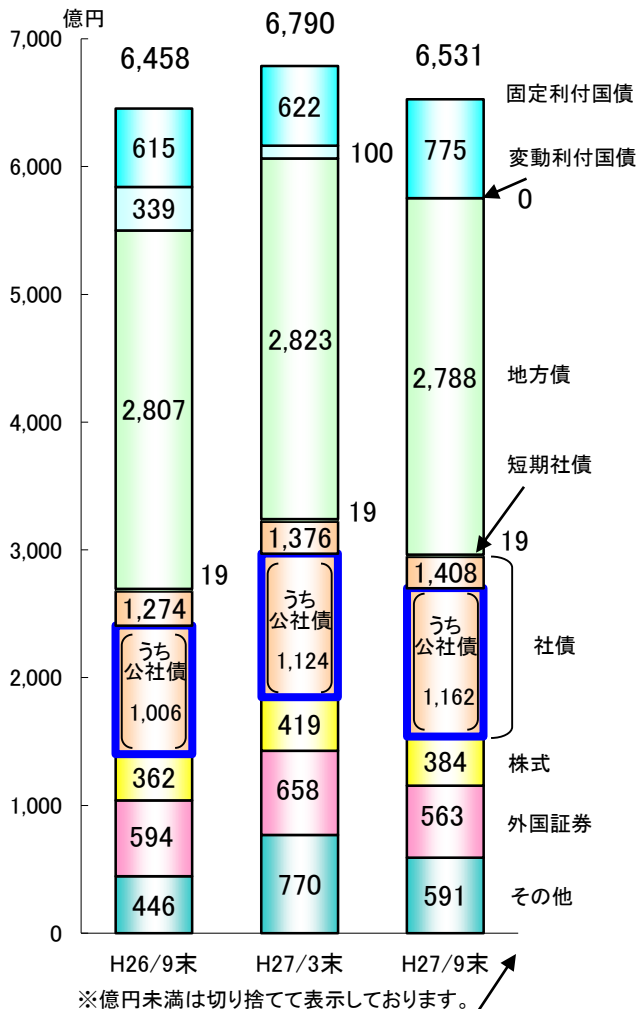
事業性貸出金、消費者ローン利息は前年比プラスに。



※ 単位は百万円、百万円未満は切り捨てて表示しております。

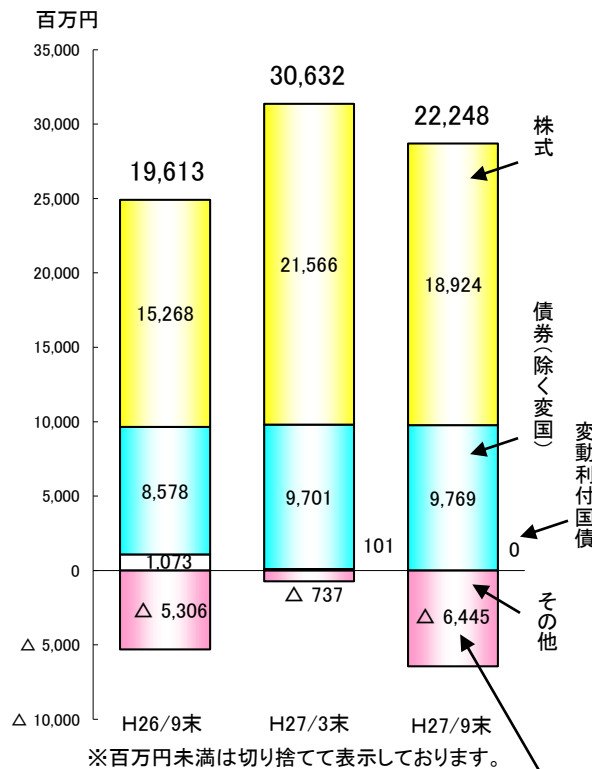
# 3. 有価証券の状況

## 1. 有価証券残高 (BS計上額)



「その他」の内訳  
 REIT 59  
 その他の投資信託 524  
 投資事業組合 7

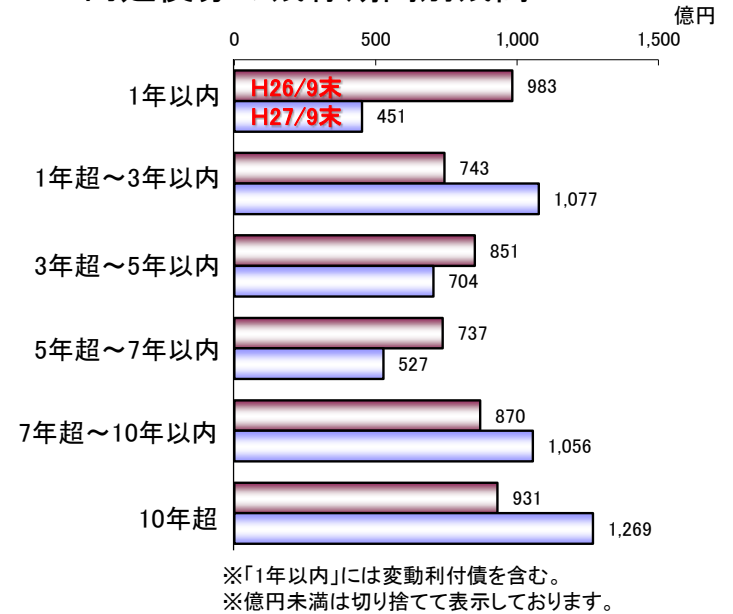
## 2. 「その他有価証券」の評価損益



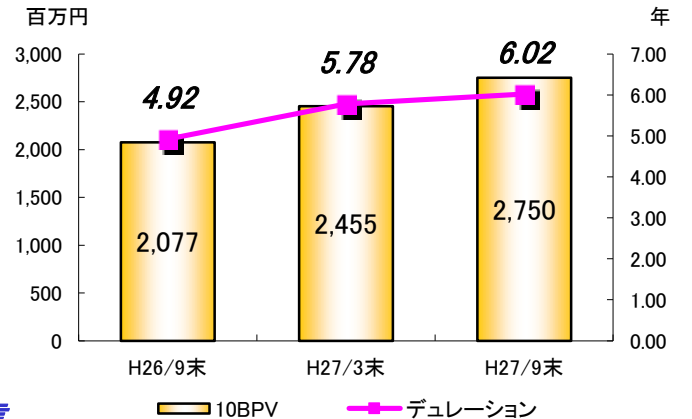
うちREIT、ETF、外債投信等で「△1,438」、  
 金利リスクヘッジのための  
 債券ペア型投信で「△5,007」

うち「133」は金利リスクヘッジのための債券ペア型投信

## 3. 円建債券の残存期間別残高



## 4. 円建債券の平均残存期間と10BPV

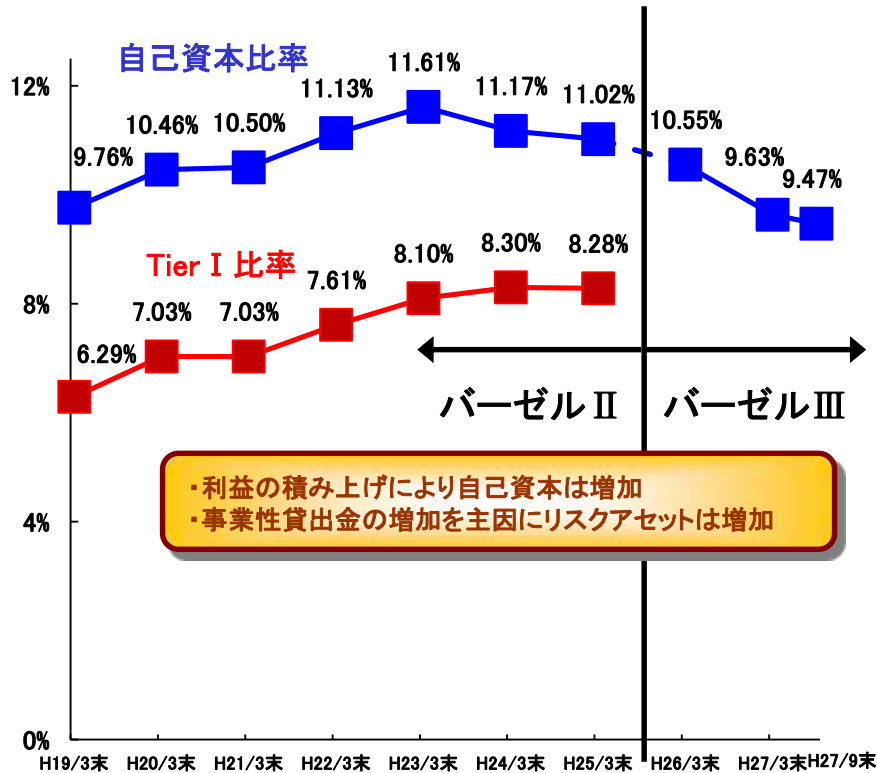


※デュレーションおよび10BPVはヘッジ考慮後にて算出。  
 ※変動利付債のデュレーションは0.5年として算出。

# 4. 自己資本比率・不良債権比率の推移

(1) 自己資本比率の推移

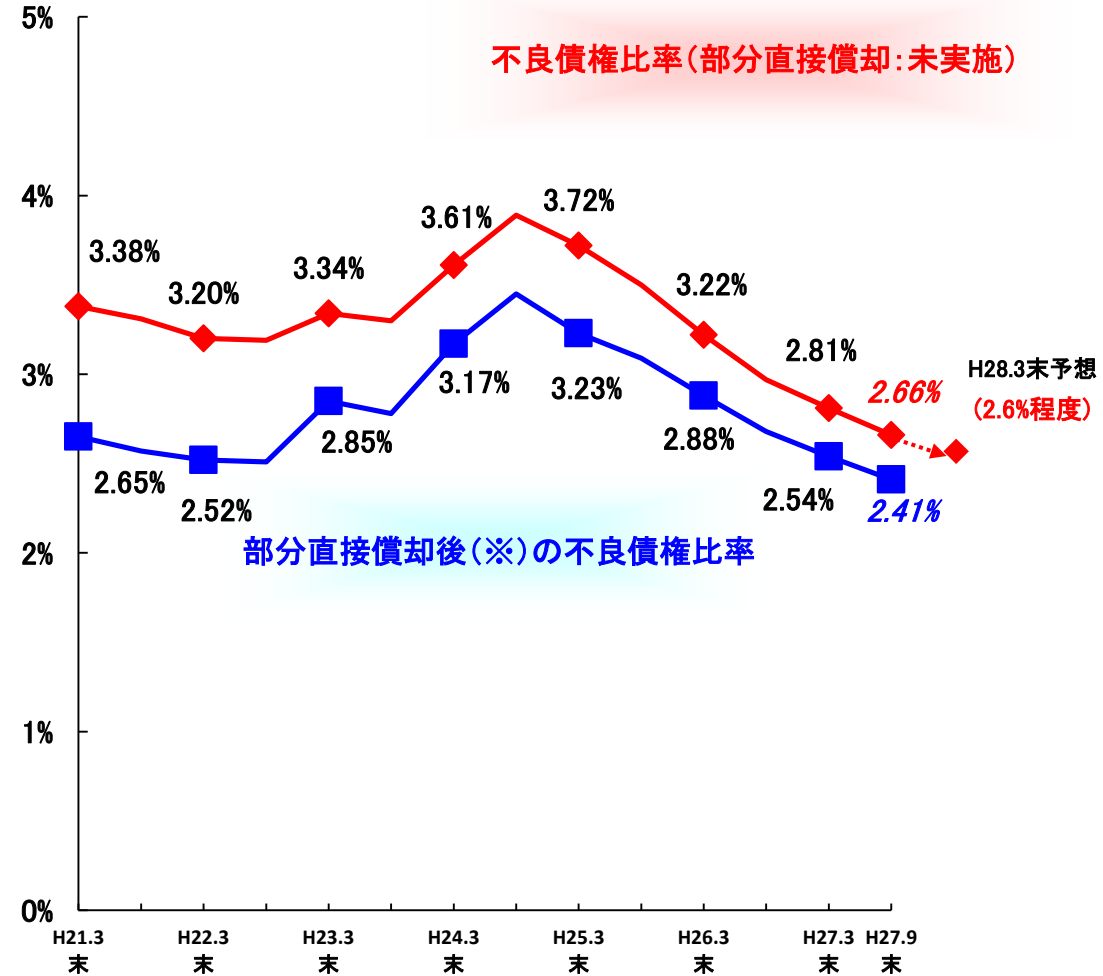
バーゼルⅢ			バーゼルⅢ			
		H27/3末		H27/9末	(H27/3末比)	
自己資本	A	102,949	自己資本	A	105,668	+2,719
リスクアセット	B	1,068,122	リスクアセット	B	1,115,200	+47,078
自己資本比率	A/B	9.63%	自己資本比率	A/B	9.47%	△ 0.16%



・利益の積み上げにより自己資本は増加  
 ・事業性貸出金の増加を主因にリスクアセットは増加

※信用リスクは「標準的手法」、オペレーショナルリスクは「基礎的手法」。

(2) 不良債権比率の推移



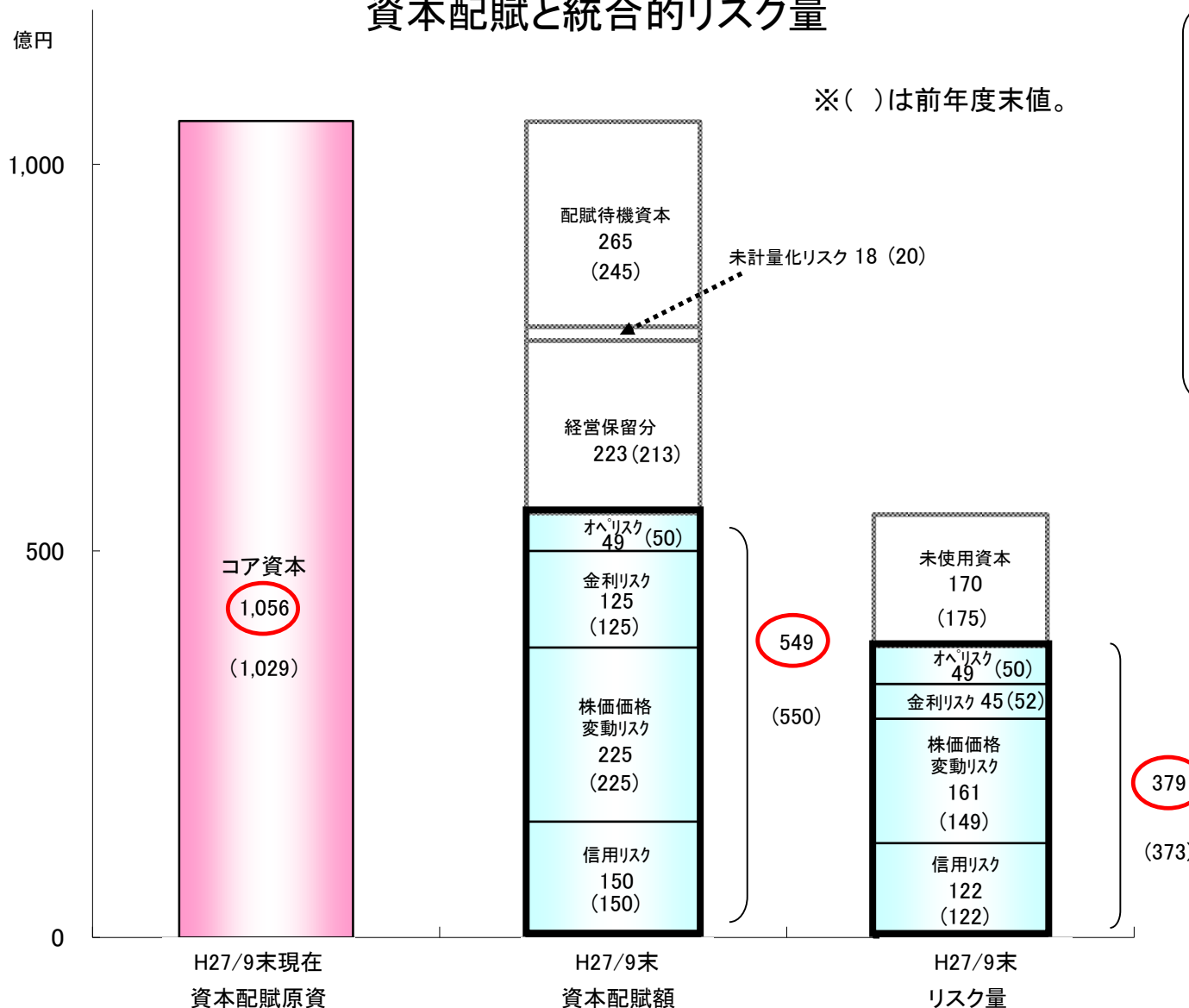
※部分直接償却とは

自己査定により回収不可能又は無価値と判定した担保・保証付債権等について、債権額から担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額(IV分類金額)を取立不能見込額として債権額から直接減額すること。

※当行は「部分直接償却」を実施していないため、IV分類金額と同額の貸倒引当金を計上している。

# 5. 統合的リスク管理

## 資本配賦と統合的リスク量



リスク計測基準			
信用リスク	… 保有期間	1年	
	… 信頼区間	99%	
金利リスク	… 保有期間	1～60日	
	… 信頼区間	99%	
株価価格変動リスク	… 保有期間	20～125日	
	… 信頼区間	99%	
オペレーショナルリスク	… 基礎的手法		
※相関は考慮しておりません。			

### アウトライヤー比率(H27/9末)

金利リスク量 (億円)	自己資本 (億円)	アウトライヤー比率
37 (47)	1,056 (1,029)	3.53% (4.62%)

※計測方法: 完全再評価方式 ※金利ショック幅: パーセンタイル値  
 ※コア預金: 内部モデルにて計測 ※億円未満は切り捨て  
 ※下段の( )は前年度末値

※億円未満は切り捨てにて表示

【お問い合わせ先】

株式会社 佐賀銀行  
総合企画部  
担当 大串、山崎

TEL 0952-25-4553

本資料に記載された将来の予測等は資料作成時点の当行の判断であり、将来の業績等を保証するものではありません。今後、経営環境の変化などにより、変更される可能性があることにご留意ください。また、本資料は当行の財務状況および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。